

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス You II

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		<基本理念> ・ どの様な疾病や障害があろうとも、人は自己肯定感をもって安寧に人生を歩む存在であることを尊重し、一人ひとりのリカバリーを支援する。							
支援方針		・ 環境を整え、お子様の安心・安全を確保するとともに、各々の目標や課題に応じた支援を行います。 ・ お子様が適応的な行動を学び、日常生活への実践を促進します。							
営業時間			10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・ お子様の健康状態や心身の状態に合わせて、負担なく活動に参加できるように詳細な状況把握に努めます。 ・ 口頭でのやり取りに加えて、文字やイラストなど多様な方法を活用し、お子様自身の気持ちや考えを表現できるようサポートし、周囲の大人から「理解してもらえた」と感じられるようにお子様に寄り添い、できたところやよいところを誉めています。							
	運動・感覚	・ 定期的なレクリエーション活動の中で協調運動、協応動作などを取り入れ支援します。 ・ 運筆の他、手指を使った活動を行い微細運動にも取り組み支援します。 ・ 感覚統合の視点を取り入れることで、姿勢保持やバランス感覚が養われるよう支援します。							
	認知・行動	・ 学習の時間を設け、学校での課題の他にも、必要に応じた認知面の発達を促し支援します。（ご家庭のニーズに合わせて、宿題や家庭学習のフォローや学年を遡った個別の学習課題を作成・実施します。） ・ 具体的な行動の目標を設定し、適切な行動が定着するよう「褒める」支援を行いスモールステップで習得を目指します。							
	言語コミュニケーション	・ ソーシャルスキルトレーニング（SST）を実施することで、他者とのコミュニケーションや社会的スキルについて学びを深めるよう支援します。 （グループでは「心と体のつながり」や「友人関係の構築と維持のスキル」、「ストレス対処」および「苦手や不安との向き合い方」等のテーマを通年で取り組みます。）							
	人間関係社会性	・ 関わり活動ではレクリエーションやアナログゲーム等を行い、“遊び”を通して他のメンバーとの関わり方を考える機会にし目的を持って活動に参加できるように支援します。 ・ 環境設定にも配慮し、活動そのものを楽しめるようスタッフがサポートし、お子様自身が情動調整ができるように支援します。							
家族支援		・ 日々の活動の様子を伝えることに加えて、定期的にお便りにてお知らせします。 ・ お子様含め、ご家族が抱える困りごとを電話や対面で聴き取り、「育ち」や「暮らし」が安定できるように対応策等を一緒に考え相談します。				移行支援		・ お子様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）の考え方にに基づき、学校や他事業所等と情報共有を行う他、学年に合わせた社会的スキルを学べるよう、年齢の近いお子様を同じグループに設定できるよう構成します。	
地域支援・地域連携		・ お子様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、専門的な知識・技術に基づく支援、保育所等訪問支援などを通じて学校訪問などを実施することがあります。また、お子様のライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、学校、教育関係機関等と連携を図ります。				職員の質の向上		・ 法人内の研修会、児童発達支援センター研修会、発達に関するWebセミナーへの参加など、様々な専門的な研修会への参加を行い、支援の質向上を目指します。	
主な行事等		・ 毎月の下旬に特別活動として、季節を感じられる行事やレクリエーション活動を実施しSSTの時間で学んだ事柄を実践できる機会を設けながら支援します。 ・ 運動や制作、ゲーム大会などに取り組み、その都度目標や目的を設定します。							